

楠 淳證教授 略歴

生年月日 昭和三十一年十一月二十三日

昭和五十四年三月 龍谷大学 文学部仏教学科仏教学専攻 卒業

昭和五十四年四月 龍谷大学 大学院文学研究科修士課程仏教学専攻 入学

昭和五十七年三月 龍谷大学 大学院文学研究科修士課程仏教学専攻 修了

昭和五十七年四月 龍谷大学 大学院文学研究科博士後期課程仏教学専攻 入学

昭和六十一年三月 龍谷大学 大学院文学研究科博士後期課程仏教学専攻 依願退学

昭和六十一年四月 龍谷大学 短期大学部 非常勤講師（昭和六十三年三月まで）

昭和六十三年四月 龍谷大学 文学部 非常勤講師（平成元年三月まで）

平成 元 年四月 龍谷大学 文学部 専任講師

平成 八 年四月 龍谷大学 文学部 助教授

平成 九 年四月 龍谷大学 短期大学部 助教授

平成 十二年四月 龍谷大学 短期大学部 教授

平成 十五年四月 龍谷大学 文学部 教授

平成 十七年九月 浄土真宗本願寺派 司教

平成二十二年七月 浄土真宗本願寺派安居 副講者

平成二十六年四月 龍谷大学 宗教部長（平成二十八年三月まで）

平成二十六年九月 日本仏教学会 常務理事（令和二年九月まで）

平成二十七年四月 龍谷大学アジア仏教文化研究センター センター長（令和元年三月まで）

平成二十七年四月 龍谷大学世界仏教文化研究センター 基礎研究部門長（令和五年三月まで）

令和 元 年七月 浄土真宗本願寺派安居 副講者

令和 二 年七月 龍谷大学 博士（文学）

令和 三 年四月 日本印度学仏学会 代表理事（令和五年度まで）

楠淳證教授 主要業績目録

（単著・編著）

1 『唯識—こころの仏教』（龍谷大学仏教学叢書1）（編著） 自照社出版 平成二十（二〇〇八）年九月

2 『心要鈔講読』（単著） 永田文昌堂 平成二十二（二〇一〇）年七月

3 『暮らしに生かす唯識』（龍谷大学仏教学レクチャーシリーズ「仏教と人生の課題」1）

（単著） 探究社 平成二十五（二〇一三）年五月

4 『回峰行と修験道—聖地に受け継がれし伝灯の行』

（龍谷大学アジア仏教文化研究センター文化講演会シリーズ1）（編） 法藏館

平成二十八（二〇一六）年十月

5 『南都学・北嶺学の世界—法会と仏道』（龍谷大学アジア仏教文化研究叢書6）（編著） 法藏館

- 平成三十（二〇一八）年三月
- 6 『蔵俊撰『仏性論文集』の研究』（龍谷大学アジア仏教文化研究叢書7）（編著）法藏館
- 平成三十一（二〇一九）年二月
- 7 『貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究―仏道篇』（単著）法藏館
- 令和元（二〇一九）年七月
- 8 『修二会 お水取りと花会式―聖地に受け継がれし伝灯の法会』
（龍谷大学アジア仏教文化研究センター文化講演会シリーズ3）（編著）法藏館
- 令和二（二〇二〇）年一月
- 9 『国際社会と日本仏教』（龍谷大学アジア仏教文化研究叢書17）（編著）丸善出版
- 令和二（二〇二〇）年一月
- 10 『日本仏教と論義』（龍谷大学アジア仏教文化研究叢書13）（編著）法藏館
- 令和二（二〇二〇）年二月
- 11 『貞慶撰『観世音菩薩感應抄』の研究』（龍谷大学仏教文化研究叢書41）（編著）法藏館
- 令和三（二〇二二）年二月
- 12 『貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究―「別要」教理篇・上』（龍谷大学仏教文化研究叢書43）（編著）法藏館
- 令和四（二〇二二）年二月
- 13 『貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究―「別要」教理篇・上 解説・索引』（編著）法藏館
- 令和六（二〇二四）年二月
- 14 『解脱房貞慶の世界―『観世音菩薩感應抄』を読み解く』
（龍谷大学仏教文化研究叢書53）（編著）法藏館
- 令和六（二〇二四）年九月
- 15 『貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究―「別要」教理篇・中1』（編著）法藏館

令和七（二〇二五）年二月刊行予定

（共著）

- 1 北畠典生編『日本中世の唯識思想』（龍谷大学仏教文化研究叢書7）
「愚草『深密三時』」「顯範草『深密三時』」「良算草『心清淨故』」「良遍草『一法中道』」、そのほか『普為乗教』全般、『第九識体』全般、「短釈カード」全般執筆）永田文昌堂
平成九（一九九七）年六月
- 2 智山勸学会編『論義の研究』（Iの二「法相の論義」執筆）青史出版
平成十二（二〇〇〇）年三月
- 3 龍谷大学短期大学部仏教科編『仏教―いのち』と「こころ」
（「多元世界を見る」「こころ」「仏教と脳死―極睡眠と極悶絶の観点から―」執筆）自照社出版
平成十二（二〇〇〇）年十月
- 4 龍谷大学短期大学部編『仏教文化と福祉』永田文昌堂
平成十三（二〇〇一）年二月
- 5 奈良女子大学古代学術研究センター設立準備室編『儀礼にみる日本の仏教―東大寺・興福寺・薬師寺』（第二章の二「法相論義の形成と展開」執筆）法藏館
平成十三（二〇〇一）年三月
- 6 大藏経学術用語研究会編『仏典入門事典』（「起信論」「唯識論開書」執筆）永田文昌堂
平成十三（二〇〇一）年六月
- 7 龍谷大学短期大学部仏教科編『仏法東漸―シルクロードから古都奈良、そして現代へ』（第二章の二「いろいろの仏教」、第四章の二「護命僧正と大乘戒壇独立騒動」執筆）自照社出版
平成十三（二〇〇一）年十二月

8 龍谷大学短期大学部仏教科編『仏教と日本のこころ』（龍谷大学短期大学部仏教科最終特別講義）

（第三章の二「解脱上人貞慶と観音信仰—ある唯識行者の浄土信仰—」執筆）自照社出版

平成十五（二〇〇三）年十一月

9 鍋島直樹・長上深雪・嵩満也編『仏教生命観の流れ—縁起と慈悲』

（人間・科学・宗教ORC研究叢書2）（Ⅱの3「日本唯識における縁起的生命観」執筆）法藏館

平成十八（二〇〇六）年六月

10 大取一馬責任編集・龍谷大学仏教文化研究所編『禿氏文庫本』（龍谷大学善本叢書29）

（『興福寺奏達状』解説執筆）思文閣出版

平成二十二（二〇一〇）年十月

11 大取一馬編『典籍と史料』（龍谷大学仏教文化研究叢書28）

（第二部の四「龍谷大学図書館禿氏文庫蔵『興福寺奏達状』について—『興福寺奏状』の草稿本

もしくは今一つの「奏状」—」執筆）思文閣出版

平成二十三（二〇一一）年十一月

12 マルティン・レップ、井上善幸編『問答と論争の仏教—宗教的コミュニケーションの射程』

（龍谷大学仏教文化研究叢書27）（Ⅰの三「南都の法会と法相論義」執筆）法藏館

平成二十四（二〇一二）年三月

13 吉田哲編『祇園精舎の鐘の声』（龍谷大学仏教学レクチャーシリーズ「仏教と人生の課題」3）

（『祇園精舎の鐘の声』執筆）探究社

平成二十六（二〇一四）年三月

14 野呂靖編『沙羅双樹の花の色』（龍谷大学仏教学レクチャーシリーズ「仏教と人生の課題」4）

（『沙羅双樹の花の色』執筆）探究社

平成二十六（二〇一四）年十一月

15 龍谷大学創立三八〇周年記念書籍編集委員会編『時空を超えたメッセージ—龍谷の至宝』

(第一章の九「興福寺奏達状―法然浄土教彈劾書の草稿本から判明した、秘められた改変」
執筆) 法藏館
令和元(二〇一九)年七月

16 道元徹心編『日本仏教の展開とその造形』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書15)

(第2部「南都北嶺の仏教と美術」の「貞慶の「法然浄土教批判」の特色―魔界法滅をめぐる―」
執筆) 法藏館
令和二(二〇二〇)年二月

17 日本仏教学会編『仏教事典』(第2章「仏教の歩み」「奈良時代の仏教」、第3章「仏教の思想と修
道」「仏教における生死観」執筆、第6章「仏教の社会的実践」編集) 丸善出版

令和三(二〇二二)年一月

18 木俣元一・近本謙介編『宗教遺産テキスト学の創成』

(第7部「宗教遺産先端アーカイヴ構築と発信」の「宗教遺産としての法相論義文献」執筆)
勉誠出版
令和四(二〇二二)年三月

(学術論文／前掲の編著・共著に収録されているものも含む)

(1) 「貞慶の浄土観とその信仰―弥勒信仰から観音信仰へ―」『龍谷大学大学院紀要・文学研究科』第6集

昭和六十(一九八五)年三月

(2) 「良遍の「唯識観」―自利の観行から利他の観行へ―」『龍谷大学大学院仏教学研究室年報』創刊号

昭和六十(一九八五)年三月

(3) 「貞慶の浄土観とその信仰 (二)―弥陀浄土信仰の有無について―」

『龍谷大学大学院紀要・文学研究科』第7集

昭和六十一(一九八六)年三月

- (4) 「貞慶の浄土観とその信仰―法然浄土教批判の一考察―」『宗教研究』第59巻4輯
昭和六十一年（一九八六）年三月
- (5) 「日本唯識思想の研究―安養唯報・通化説の展開―」『印度学仏教学研究』第35巻第1号
昭和六十一年（一九八六）年十二月
- (6) 「日本唯識思想の研究―三身成道説の展開―」『宗教研究』第60巻4輯
昭和六十二年（一九八七）年三月
- (7) 「日本唯識思想の研究―大悲闡提成・不成説の展開―」『仏教学研究』第43号
（特集・唯識思想の研究 山崎教授 定年記念）
昭和六十二年（一九八七）年六月
- (8) 「仏教における慈悲性について―鎌倉時代の南都仏教を中心として―」『宗教研究』第61巻4輯
昭和六十三年（一九八八）年三月
- (9) 「三時教判の展開」『印度学仏教学研究』第37巻第1号
昭和六十三年（一九八八）年十二月
- (10) 「良遍僧都の唯識仏教」『興福寺仏教文化講座』第44回
昭和六十三年（一九八八）年十二月
- (11) 「唯識思想と西方願生思想」『龍谷教学』第24号
平成元年（一九八九）年六月
- (12) 「貞慶の法然浄土教批判に関する一考察」『龍谷大学論集』第434・435合併号
平成元年（一九八九）年十一月
- (13) 「日本における唯識観の展開」『仏教学研究』第45・46号（武内教授 井ノ口教授 定年記念）
平成二（一九九〇）年三月
- (14) 「日本における空思想の發揮―大乘唯識説展開の思想基盤―」『日本の仏教と文化』（共著）所収
平成二（一九九〇）年七月
- (15) 「良遍の浄土教思想に関する一考察」『龍谷大学論集』第438号
平成三（一九九二）年七月

- (16) 「法相と唯識観」『日本仏教学会年報』第57号
平成四（一九九二）年五月
- (17) 「解脱上人と観音信仰」『興福寺仏教文化講座』第111回
平成五（一九九三）年七月
- (18) 「日本唯識思想の研究—論義「第九識体」の検討—」『龍谷大学論集』第443号
平成五（一九九三）年十二月
- (19) 「日本仏教の展開—法相唯識について—」『仏教学研究』第50号
平成六（一九九四）年三月
- (20) 「愚草『一法中道』の研究—（前）—」『龍谷大学論集』第448号
平成八（一九九六）年六月
- (21) 「法宝の「三時教判」批判に関する一考察—『一乘仏性究竟論』巻四「破法爾五性章第八」を中心として—」『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第35集
平成八（一九九六）年十一月
- (22) 「貞慶の安養説に関する一考察」『真宗研究—真宗連合学会研究紀要』第41輯
平成九（一九九七）年一月
- (23) 「法勝寺御八講問答記」における法相論義の研究—論義形成期の学僧・修学房覚晴について（1）—
「—」『仏教思想文化史論叢』（共著）所収
平成九（一九九七）年六月
- (24) 「日本唯識と『成唯識論同学鈔』」『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第36集
平成九（一九九七）年十一月
- (25) 「『成唯識論同学鈔』巻一—一解説—」『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第36集
平成九（一九九七）年十一月
- (26) 「日本唯識と西明寺円測」『日本仏教文化論叢』上巻（共著）所収
平成十（一九九八）年六月
- (27) 「聖覚房良算と『愚草』」『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第37集
平成十（一九九八）年十一月
- (28) 「成唯識論同学鈔」巻一—六解説—『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第37集
平成十（一九九八）年十一月
- (29) 「法勝寺御八講問答記」天承元年条における法相論義

『南都仏教』第77号（『法勝寺御八講問答記』特集号）

平成十一（一九九九）年十月

(30) 「聖覚房良算と『唯識論尋思鈔』——『摩尼抄』『成唯識論本文抄』『般若臺談抄』の成立をめぐる」

——『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第39集

平成十二（二〇〇〇）年十一月

(31) 『成唯識論同学鈔』卷一——九解説 『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第39集

平成十二（二〇〇〇）年十一月

(32) 「三祇成仏と一念成道——法相論義「撰在一刹那」による一大展開——」

『仏教文化と福祉』（共著）所収

平成十三（二〇〇一）年二月

(33) 「貞慶の「撰在一刹那」の思想——『般若臺談抄』と『唯識論尋思鈔』の所説をめぐる——」

『仏教学研究』第56号（北畠典生教授 光川豊藝教授 定年記念）

平成十四（二〇〇二）年三月

(34) 「貞慶の弥陀浄土信仰の有無についての再検討」 『仏教学研究』第57号

平成十四（二〇〇二）年三月

(35) 「貞慶撰『弁財天式』『弁財天女講式』にみられる利生思想」 『社会福祉と仏教』（共著）所収

平成十四（二〇〇二）年十一月

(36) 『唯識論尋思鈔』における仏果障義と『成唯識論同学鈔』

『龍谷大学論集』第46号

平成十六（二〇〇四）年一月

(37) 「日本唯識における論義仏果障展開の意義」 『仏教と人間社会の研究』（共著）所収

平成十六（二〇〇四）年三月

(38) 「平安時代の唯識仏教——薬師寺仲継大徳の発想の妙——」 『薬師寺』第140号

平成十六（二〇〇四）年九月

(39) 「貞慶撰『唯識論尋思鈔別要』に見られる命終心思想の意義」 『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第44集

平成十七（二〇〇五）年十一月

- (40) 「唯識——こころの仏教——」を読む人のために」「日本唯識における行道觀と臨終思想」

『唯識——こころの仏教——』(編著) 所収

平成二十(二〇〇八)年九月

- (41) 「龍谷大学図書館蔵『法相関係論義書』について」『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第47集

平成二十年(二〇〇八)年十二月

- (42) 「貞慶の弥陀信仰再考——本願念仏臨終來迎論と報化二土一体同處論による「凡入報土」の展開——」

『南都仏教』第93号

平成二十一(二〇〇九)年十二月

- (43) 「貞慶撰『心要鈔』の撰述年に関する一考察」『龍谷大学論集』第474・475合併号

平成二十二(二〇一〇)年一月

- (44) 「貞慶の觀音信仰再考——新資料『觀世音菩薩感應抄』を中心として——」

『日本仏教綜合研究』第八号

平成二十二(二〇一〇)年五月

- (45) 「貞慶撰『安養報化』(上人御草)の翻刻読解研究」『南都仏教』第95号

平成二十二(二〇一〇)年十二月

- (46) 「南都の法会と法相論義」『勸学寮例会紀要』

平成二十三(二〇一一)年十二月

- (47) 「貞慶の菩薩種姓自覺の理論と仏道觀——新資料『法相宗大意名目』ならびに『心要鈔』等を中心として——」

『龍谷大学論集』第479号

平成二十四(二〇一二)年三月

- (48) 「貞慶の遁世について——新資料「故解脱房遣坂僧正之許消息之状」翻刻紹介——」

『仏教学研究』第71号(淺田正博教授 定年記念)

平成二十七(二〇一五)年三月

- (49) 「法相論義——一仏繫属——展開の意義——貞慶による法然浄土教批判の論理構築——」

『龍谷大学論集』第490号

平成二十九(二〇一七)年十一月

- (50) 「法相論義と仏道」『南都学・北嶺学の世界―法会と仏道』（編著）所収 平成三十（二〇一八）年三月
- (51) 「藏俊撰『仏性論文集』の思想的特色」「藏俊撰『仏性論文集』の翻刻読解研究」の「序章（表表紙に付された後補題箋と遊紙裏の書き付け三行）」「弥勒造『瑜伽師地論』と世親造『仏性論』の背反」「訳者真諦加増説」の提示」翻刻読解研究
- (52) 「藏俊撰『仏性論文集』の研究」（編著）所収 平成三十一（二〇一九）年二月
平成三十一（二〇一九）年四月
- (53) 「貞慶の浄土信仰と仏道―講式を中心として―」「南都の法会―仏に成る道―」
『修二会 お水取りと花会式―聖地に受け継がれし伝灯の法会』（編著）所収
- (54) 「法相論義と仏道―『成唯識論同学鈔』に見る不成仏種姓の会通―」「日本仏教と論義」（編著）所収 令和二（二〇二〇）年一月
- (55) 「貞慶の「法然浄土教批判」の特色―魔界法滅をめぐる―」
『日本仏教の展開とその造形』（共著）所収 令和二（二〇二〇）年二月
- (56) 「貞慶撰『唯識論尋思鈔』」「三身成道同時歟」の意義」『龍谷大学論集』第495号 令和二（二〇二〇）年三月
- (57) 「解脱房貞慶の浄土信仰展開の諸理論について―「法然浄土教批判」の思想背景―」
『勧学寮例会研究紀要』 令和二（二〇二〇）年十二月
- (58) 「貞慶撰『観世音菩薩感應抄』の撰述と思想的特色」「『観世音菩薩感應抄』の翻刻読解研究」「付録 貞慶撰『安養報化』（上人御草）の翻刻読解研究」

『貞慶撰『観世音菩薩感應抄』の研究』（編著）所収

令和三（二〇二二）年二月

- (59) 「論議抄の成立」「唯識論尋思鈔」の編述」等の諸論、「大悲闡提」「証果廻心」「三智差別」等の翻刻読解研究

『貞慶撰『成唯識論尋思鈔』の研究「別要」教理篇・上』（編著）所収

令和四（二〇二二）年二月

- (60) 「大悲闡提」「一乘五姓了不了義」「証果廻心」「帶質通情本」「仏所得法而皆得」「一意識計」の解説
『貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究——「別要」教理篇・上 解説・索引』（編著）所収

令和六（二〇二四）年二月

- (61) 「『観世音菩薩感應抄』解説——行者の信仰実践の書」、コラム「貞慶の講式に見られる諸信仰の意義」、

『安養報化』『勸学記』『観心為清浄円明事』『興福寺奏達状』『興福寺奏状』『出離最要』『修行要

鈔』『心要鈔』『仏舍利観音大士発願文』『別願講式』『弁財天式』『弁財天女講式』『命終心事』

『臨終之用意』『唯識論尋思鈔』著作解説、付録2「奥書・識語集」

『解脱房貞慶の世界——『観世音菩薩感應抄』を読み解く』（共著）所収

令和六（二〇二四）年九月

（その他／記念論集や共同研究等も便宜を考慮して揭示）

- ① 北畠典生教授還暦記念論集刊行会編『日本の仏教と文化』（北畠典生教授還暦記念）永田文昌堂

平成二（一九九〇）年七月

- ② 「日本の中世における唯識思想の研究——「普為乗教」の展開——」

（北畠典生等共同研究）『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第29集

平成二（一九九〇）年十二月

- ③ 「日本中世における唯識思想の研究——「第九識体」の展開（上）——」

〔北畠典生等共同研究〕『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第30集（創立三十周年記念特集号）

平成三（一九九一）年十二月

④ 〔日本中世における唯識思想の研究——「第九識体」の展開（下）——〕

（北畠典生等共同研究）『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第32集

平成五（一九九三）年十二月

⑤ 〔日本中世における唯識思想の研究——「心清浄故」の展開——〕

（北畠典生等共同研究）『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第33集

平成六（一九九四）年十一月

⑥ 〔「一乗仏性究竟論」における問題点とその検討（一）〕（浅田正博等共同研究）

『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第34集

平成七（一九九五）年十一月

⑦ 〔「一乗仏性究竟論」における問題点とその検討（二）〕（浅田正博等共同研究）

『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第35集

平成八（一九九六）年十一月

⑧ 渡邊隆生教授還暦記念論集刊行会編『仏教思想文化史論叢』

（渡邊隆生教授還暦記念論集）永田文昌堂

平成九（一九九七）年六月

⑨ 〔「成唯識論同学鈔」の研究（一）〕（楠淳澄・北畠典生等共同研究）

『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第36集

平成九（一九九七）年十一月

⑩ 北畠典生教授古希記念論集刊行会編『日本仏教文化論叢』上巻

（北畠典生博士古稀 記念論文集）永田文昌堂

平成十（一九九八）年六月

⑪ 〔「成唯識論同学抄」の研究（二）〕（楠淳澄・後藤康夫等共同研究）

『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第37集

平成十（一九九八）年十一月

⑫ 〔「法勝寺御八講問答記」天承元年条本文〕『南都仏教』第77号（『法勝寺御八講問答記』特集号）

平成十一（一九九九）年十月

- ⑬ 『成唯識論同学抄』の研究（二）（楠淳證・後藤康夫等共同研究）

『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第39集

平成十二（二〇〇〇）年十一月

- ⑭ 龍谷大学短期大学部編『社会福祉と仏教』（短期大学部社会福祉科開設四十周年記念論集）百華苑

平成十四（二〇〇二）年十一月

- ⑮ 朝枝善照先生華甲記念論文集刊行会編『仏教と人間社会の研究』

（朝枝善照博士還暦記念論文集）永田文昌堂

平成十六（二〇〇四）年三月

- ⑯ 「仏教古文獻における唯心思想の総合的研究（1）——解脱房貞慶の唯識思想の展開」

（楠淳證・藤丸要等共同研究）『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第44集

平成十七（二〇〇五）年十一月

- ⑰ 「龍谷大学図書館蔵仏教古文獻の研究」（桂紹隆・龍口明生等共同研究）

『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第47集

平成二十（二〇〇八）年十二月

- ⑱ 「生活に生かす唯識 その1」『薬師寺』第161号

平成二十一（二〇〇九）年十月

- ⑲ 「生活に生かす唯識 その2」『薬師寺』第162号

平成二十一（二〇〇九）年十二月

- ⑳ 「龍谷大学図書館蔵「禿氏文庫本」の研究」（大取一馬・岩井宏子等共同研究）

『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第48集

平成二十一（二〇〇九）年十二月

- ㉑ 「生活に生かす唯識 その3」『薬師寺』第163号

平成二十二（二〇一〇）年三月

- ㉒ 「生活に生かす唯識 その4」『薬師寺』第164号

平成二十二（二〇一〇）年六月

- ㉓ 「生活に生かす唯識 その5」『薬師寺』第165号

平成二十二（二〇一〇）年九月

- ㉔ 「生活に生かす唯識 その6」『薬師寺』第166号

平成二十二（二〇一〇）年十二月

②5 「日本唯識の転換点―蔵俊・貞慶と法相論義―」（楠淳證・蜷川祥美・新倉和文共著）

『南都仏教』第95号

平成二十二（二〇一〇）年十二月

②6 「序文（プロジェクトの総括と展望）」

龍谷大学アジア仏教文化研究センター『2015年度 研究報告書』

平成二十八（二〇一六）年三月

②7 「序文（プロジェクトの総括と展望）」

龍谷大学アジア仏教文化研究センター『2017年度 研究報告書』

平成三十年（二〇一八）年三月

②8 「仏教と聖地に関する総合的研究―聖なる表象とは何か―」（楠淳證等共同研究）

『龍谷大学世界仏教文化研究論叢』第57集

平成三十一年（二〇一九）年三月